



LIFE with Nature, Culture, Literature and Children

HANAYASURI

■判型／B5判 ■製本／中綴じ製本 ■頁数／20ページ・カラー ■発行／毎月1日

新創刊「HANAYASURI」の6つの編集方針

～テレビ以前、インターネット以降の日常生活を考えながら

■日常生活からの気づきを綴る

日々の生活から気づいたことを綴ったエッセイを募集します。本誌を読んでくださった方々が掲載された文章から考えを育み、自分も日常生活で気づいたことを書いてみたいと思える誌面づくりを目指します。応募によるエッセイは発行月の前月5日が締切です（4月号の場合、3月5日）。文章量の目安は400～800字程度です。

■身近な自然を見つめる楽しみ

自然を見つめることから得られる気づきを大切にします。読んでくださった方が、ご自身の身近な自然を見つめ直すきっかけとなるような誌面づくりを目指します。定期的な観察会の開催を通して、実際に自然に触れ、親しみ、深く考える機会を設けていきます。

■文学と自然

文学の定義は人それぞれ異なると思いますが、「HANAYASURI」では、書くことでより深く人と交流する為の表現手段と考えています。テレビ以前、インターネット以降の日常生活を考えるために、過去の文学者・表現者たちがどのような自然観に基づき作品をつくっていたのかを考える取り組みは、本誌の一つの軸となります。読むことで、日常生活に新しい気づきを発見できる文章を掲載していきます。

■表現する人たちの作品発表の場

絵、写真、詩、短歌、俳句、物語執筆など、さまざまな表現活動をされている方々の作品発表の場でありたいと考えています。「HANAYASURI」及び書肆花鱧の運営方針に賛同してくださる方々が、ご自身の表現を躍動させられる誌面づくりを目指します。

■未来を創る子ども達を育む

これから先、未来を担う子ども達の成長を大切にします。書肆花鱧は、子ども達の目の輝きは、大人がまず目を輝かせてこそ生まれると考えます。まずは大人が真剣に楽しむこと。その傍にいる子ども達が、自然と日常生活について考えることが楽しいと思える取り組みを、積み重ねていきたいと考えています。

■世代をつないでいく誌面制作

「HANAYASURI」は、読んでくださる中心世代を決めません。まずは本誌を手にとっていただいて、そこに掲載されたさまざまな文章を楽しんでください。きっと、異なる世代の方たちの文章に惹かれる部分があるのではないのでしょうか。世代間のギャップを埋め、誌面の内外で深い交流が生まれるような運営を目指します。

月刊「HANAYASURI」についてのお問い合わせは、

〒456-0034 愛知県名古屋市中区熱田区伝馬 2-4-7 書肆花鱧・相地透

mail@hanayasuribooks.com 宛にお願い致します。

ホームページ <https://hanayasuribooks.com> ショッピングサイト <https://hanayasuribooks.stores.jp>

